

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年11月11日

【四半期会計期間】 第87期第2四半期  
(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 江口達夫

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田弘

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第86期 第2四半期連結 累計期間	第87期 第2四半期連結 累計期間	第86期 第2四半期連結 会計期間	第87期 第2四半期連結 会計期間	第86期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (千円)	7,781,040	9,981,757	4,475,506	4,677,727	17,339,138
経常利益 (千円)	695,665	956,580	334,143	539,799	1,090,992
四半期(当期)純利益 (千円)	298,001	548,057	72,353	322,263	382,553
純資産額 (千円)			11,415,984	11,493,422	11,241,296
総資産額 (千円)			18,013,206	18,442,374	18,377,578
1株当たり純資産額 (円)			414.05	433.90	408.47
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	10.91	20.40	2.65	12.16	13.99
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)					
自己資本比率 (%)			63.0	62.3	60.8
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	377,409	1,241,772			1,544,157
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,538,566	482,852			1,722,754
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	639,790	404,006			702,477
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)			1,268,742	2,667,156	2,313,612
従業員数 (名)			102	108	104

(注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

4 キャッシュ・フローの は、現金及び現金同等物の純支出を示しております。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間における、当社グループ（当社並びに当社の子会社及び関連会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社における状況

平成21年9月30日現在

従業員数(名)	108(27)
---------	---------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。

2 従業員数の( )は、臨時従業員の当第2四半期連結会計期間の平均雇用人員で外数であります。

### (2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在の従業員数(就業人員)は70名であります。

また、臨時従業員の第2四半期会計期間における平均雇用人員は18名であります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

##### (a) 生産実績

事業の種類別セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
精糖	3,085,211	103.8
機能性素材	165,739	90.4
合計	3,250,951	103.0

(注) 上記の金額は、販売価格によっております。

##### (b) 商品仕入実績

事業の種類別セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
精糖	110,192	160.6
機能性素材	942,449	120.7
合計	1,052,641	124.0

#### (2) 受注実績

当社グループは受注生産を行っておりません。

#### (3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
精糖	3,168,243	101.7
機能性素材	1,349,624	112.8
不動産	159,859	96.9
合計	4,677,727	104.5

(注) 1 上記の金額は、セグメント間取引を相殺消去しております。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結会計期間		当第2四半期連結会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
双日㈱	2,527,802	56.5	2,594,445	55.5

## 2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間における、経営上の重要な契約等は行われておりません。

## 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社並びに当社の子会社及び関連会社）が判断したものであります。

### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間のわが国経済は、昨年後半からの世界的な金融危機に端を発した急速な景気後退から最悪期を脱し、底入れの兆しが見えつつあるものの、本格的な回復には至らず依然として先行きの不透明感を抱えたままの状況となっております。

このような環境下、当社グループは、引き続き食品会社として相応しい工場創りに努力し、安心・安全な製品の安定供給を最重要課題として取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間の連結業績は、売上高4,677百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益472百万円（同41.2%増）、経常利益539百万円（同61.5%増）となり、四半期純利益は322百万円（同345.4%増）と増収増益を確保することが出来ました。

事業の種類別セグメントの状況は以下のとおりであります。

#### 精糖事業

精糖事業の売上高は3,168百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益376百万円（同55.5%増）となりました。厳しい経済環境下、販売数量は前年同期並みを確保するとともに、海外原糖相場が高騰する中、堅実な原糖仕入、燃料費や管理費等のコスト削減に努めた結果、増収増益となりました。

#### 機能性素材事業

機能性素材事業の売上高は1,349百万円（前年同期比12.8%増）、営業損失6百万円（同20.8%減）となりました。前連結会計年度に連結子会社となったユニテックフーズ(株)との連携を図り、機能性食品素材の用途開発、販路拡大に努めてきたものの、依然として環境は厳しく営業損失を計上する結果となりました。

#### 不動産事業

不動産事業の売上高は159百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益141百万円（同0.5%減）となりました。賃貸事業は物件の賃貸状況等は相変わらず堅調に推移したものの、当連結会計年度より本社ビルの賃貸部分の一部を自社利用した結果、売上高及び営業利益とも微減となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ0.4%増加し18,442百万円となりました。各項目における状況は次のとおりであります。

#### 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ3.3%減少し7,780百万円となりました。これは主に販売用不動産の減少、原材料及び貯蔵品の減少等によるものであります。

また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3.2%増加し10,661百万円となりました。これは主に、子会社株式追加取得によるのれんの計上、時価上昇による投資有価証券の増加等によるものであります。

#### 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ2.1%減少し4,128百万円となりました。これは主に買掛金の減少、預り金の減少等によるものであります。

また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3.4%減少し2,820百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済、持分法適用に伴う負債の減少等によるものであります。

#### 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.2%増加し11,493百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、投資有価証券の時価上昇による評価差額金の増加等によるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ353百万円増加し、2,667百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間において営業活動の結果得られた資金は、770百万円（前年同期比24.0%増）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少等によるものであります。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、244百万円（前年同期比7.2%増）となりました。これは主として、長期貸付による支出等によるものであります。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は、214百万円（前年同期比148.5%増）となりました。これは主として、短期借入金の純減額、自己株式の売却による収入が減少したこと等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はございません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間の研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、10百万円です。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は1,000株 であります。
計	29,748,200	29,748,200		

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年9月30日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

## (5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
双日株式会社	東京都港区赤坂6-1-20	8,153	27.40
塩水港精糖株式会社	東京都中央区日本橋堀留町2-9-6	2,274	7.64
鈴与株式会社	静岡県静岡市清水区入船町11-1	1,402	4.71
和田製糖株式会社	東京都中央区日本橋浜町2-4-3	1,226	4.12
野村信託銀行株式会社(信託口)	東京都千代田区大手町2-2-2	933	3.13
株式会社静岡銀行 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	静岡県静岡市葵区呉服町1-10 (東京都港区浜松町2-11-3)	792	2.66
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	558	1.87
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	新潟県新潟市中央区南万代町3-37	500	1.68
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1-2-1	447	1.50
双日食料株式会社	東京都港区赤坂2-14-32	419	1.41
計		16,706	56.15

(注) 上記のほか、当社は自己株式 3,259千株(10.95%)を所有しております。

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 自己保有株式 3,259,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 25,919,000	25,919	
単元未満株式	普通株式 570,200		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		25,919	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が6,000株(議決権6個)含まれております。

## 【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1 4 9	3,259,000		3,259,000	10.95

## 2 【株価の推移】

## 【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	270	268	312	305	304	301
最低(円)	257	262	265	279	291	280

(注) 株価は東京証券取引所市場第2部におけるものであります。

## 3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づき作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人トーマツにより四半期レビューを受け、当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表については、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

なお、従来から当社が監査証明を受けている監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人トーマツとなりました。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,348,134	1,994,607
受取手形及び売掛金	1,556,394	1,581,575
有価証券	352,075	322,004
商品及び製品	1,407,177	1,372,187
仕掛品	106,235	96,720
原材料及び貯蔵品	738,205	838,445
その他	1,275,556	1,840,903
貸倒引当金	2,993	3,425
流動資産合計	7,780,785	8,043,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	725,048	749,545
機械装置及び運搬具(純額)	182,286	197,955
土地	2,048,834	2,048,834
その他(純額)	49,493	56,181
有形固定資産合計	3,005,663	3,052,517
無形固定資産		
のれん	1,171,749	1,092,626
その他	70,259	77,838
無形固定資産合計	1,242,009	1,170,464
投資その他の資産		
投資有価証券	4,355,156	4,030,391
その他	2,160,022	2,140,070
貸倒引当金	101,263	58,883
投資その他の資産合計	6,413,916	6,111,577
固定資産合計	10,661,589	10,334,559
資産合計	18,442,374	18,377,578

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,009,498	1,193,699
短期借入金	1,470,064	1,349,996
未払法人税等	360,534	3,232
賞与引当金	105,385	106,430
役員賞与引当金	5,100	10,100
その他	1,177,908	1,551,702
流動負債合計	4,128,491	4,215,159
固定負債		
長期借入金	1,634,371	1,675,054
退職給付引当金	555,856	574,943
役員退職慰労引当金	123,011	107,798
持分法適用に伴う負債	64,475	120,411
その他	442,746	442,915
固定負債合計	2,820,459	2,921,123
負債合計	6,948,951	7,136,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,508,506	2,508,451
利益剰余金	7,969,810	7,667,986
自己株式	799,140	561,928
株主資本合計	11,203,636	11,138,969
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	295,633	42,314
繰延ヘッジ損益	5,846	5,736
評価・換算差額等合計	289,786	36,578
少数株主持分	-	65,748
純資産合計	11,493,422	11,241,296
負債純資産合計	18,442,374	18,377,578

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	7,781,040	9,981,757
売上原価	5,779,986	7,553,340
売上総利益	2,001,054	2,428,417
販売費及び一般管理費	1,365,872	1,563,882
営業利益	635,182	864,535
営業外収益		
受取利息	26,272	25,502
受取配当金	38,841	22,563
持分法による投資利益	24,519	86,927
その他	6,828	10,116
営業外収益合計	96,461	145,109
営業外費用		
支払利息	17,356	27,637
匿名組合投資損失	15,072	22,958
その他	3,550	2,468
営業外費用合計	35,978	53,065
経常利益	695,665	956,580
特別利益		
固定資産売却益	-	484
投資有価証券売却益	5,183	-
貸倒引当金戻入額	2,500	-
その他	26	65
特別利益合計	7,710	549
特別損失		
減損損失	15,808	2,473
投資有価証券評価損	171,126	40,021
貸倒引当金繰入額	-	42,221
その他	2,908	48
特別損失合計	189,843	84,765
税金等調整前四半期純利益	513,532	872,364
法人税、住民税及び事業税	255,674	356,690
法人税等調整額	43,590	39,093
法人税等合計	212,083	317,596
少数株主利益	3,447	6,710
四半期純利益	298,001	548,057

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,475,506	4,677,727
売上原価	3,347,464	3,419,259
売上総利益	1,128,041	1,258,467
販売費及び一般管理費	1 793,296	1 785,808
営業利益	334,745	472,659
営業外収益		
受取利息	13,150	12,106
受取配当金	7,711	2,282
持分法による投資利益	-	72,879
その他	3,970	6,921
営業外収益合計	24,832	94,190
営業外費用		
支払利息	11,498	14,484
匿名組合投資損失	5,975	11,552
持分法による投資損失	4,771	-
その他	3,188	1,013
営業外費用合計	25,434	27,050
経常利益	334,143	539,799
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,500	3,342
特別利益合計	2,500	3,342
特別損失		
減損損失	12,155	454
投資有価証券評価損	101,136	27,925
その他	1,596	38
特別損失合計	114,888	28,418
税金等調整前四半期純利益	221,754	514,723
法人税、住民税及び事業税	194,691	219,159
法人税等調整額	48,738	26,699
法人税等合計	145,953	192,459
少数株主利益	3,447	-
四半期純利益	72,353	322,263

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	513,532	872,364
減価償却費	75,292	71,616
のれん償却額	24,280	51,277
減損損失	15,808	2,473
賞与引当金の増減額(は減少)	11,171	1,044
役員賞与引当金の増減額(は減少)	6,470	5,000
貸倒引当金の増減額(は減少)	45,471	41,948
退職給付引当金の増減額(は減少)	20,328	19,087
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,430	15,213
受取利息及び受取配当金	65,114	48,066
支払利息	17,356	27,637
持分法による投資損益(は益)	24,519	86,927
投資有価証券売却損益(は益)	5,183	-
投資有価証券評価損益(は益)	171,126	40,021
売上債権の増減額(は増加)	130,834	25,180
たな卸資産の増減額(は増加)	280,811	705,133
預け金の純増( )減	1,164,582	-
その他の流動資産の増減額(は増加)	1,059,145	423,143
仕入債務の増減額(は減少)	50,144	184,200
その他の流動負債の増減額(は減少)	-	721,136
その他	22,503	54,704
小計	594,729	1,155,843
利息及び配当金の受取額	111,237	79,809
利息の支払額	21,050	25,487
法人税等の支払額	307,506	31,605
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>377,409</b>	<b>1,241,772</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	10,000
有形固定資産の取得による支出	56,627	69,119
有形固定資産の売却による収入	100	2,000
無形固定資産の取得による支出	17,275	729
投資有価証券の取得による支出	105,635	623
投資有価証券の売却による収入	85,283	-
長期貸付金の回収による収入	195,339	248,479
長期貸付けによる支出	330,000	470,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	1,282,345	-
子会社株式の取得による支出	27,405	202,860
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,538,566</b>	<b>482,852</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	985,000	70,000
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	109,470	190,615
自己株式の取得による支出	8,405	237,487
自己株式の売却による収入	45,493	330
配当金の支払額	272,828	246,234
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>639,790</b>	<b>404,006</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	1,369
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	521,411	353,543
現金及び現金同等物の期首残高	1,790,154	2,313,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,268,742	2,667,156



【継続企業の前提に関する注記】

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間  
(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

(四半期連結損益計算書関係)

1. 前第2四半期連結累計期間において、特別利益の「その他」に含めていました「固定資産売却益」は、特別利益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記することとしております。なお、前第2四半期連結累計期間の特別利益の「その他」に含まれる「固定資産売却益」は26千円であります。
2. 前第2四半期連結累計期間において、特別損失の「その他」に含めていました「貸倒引当金繰入額」は、特別損失総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記することとしております。なお、前第2四半期連結累計期間の特別損失の「その他」に含まれる「貸倒引当金繰入額」は2,888千円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていました「その他の流動負債の増減額(は減少)」は、重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記することとしております。なお、前第2四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「その他の流動負債の増減額(は減少)」は40,257千円であります。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。

## 【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 2,396,781千円	1 有形固定資産の減価償却累計額 2,341,952千円
2 偶発債務	2 偶発債務
(1) 債務保証	(1) 債務保証
次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。	次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。
太平洋製糖株 1,500,000千円	太平洋製糖株 1,684,333千円
南栄糖業株 128,847千円	南栄糖業株 128,847千円
なお、上記南栄糖業株に対する債務保証のうち、64,475千円については、「持分法適用に伴う負債」に計上しております。	なお、上記南栄糖業株に対する債務保証のうち、120,411千円については、「持分法適用に伴う負債」に計上しております。
(2) 再保証	(2) 再保証
次の関係会社が負っている納税債務に関して金融機関が行っている履行保証に対し下記金額を上限として再保証を行っております。	次の関係会社が負っている納税債務に関して金融機関が行っている履行保証に対し下記金額を上限として再保証を行っております。
太平洋製糖株 120,000千円	太平洋製糖株 120,000千円

## (四半期連結損益計算書関係)

## 第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は、次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は、次のとおりであります。
販売奨励金 232,906千円	販売奨励金 234,011千円
販売手数料 79,361千円	販売手数料 79,254千円
貸倒引当金繰入額 68千円	貸倒引当金繰入額 186千円
運賃 269,414千円	運賃 275,145千円
役員報酬 73,271千円	役員報酬 83,528千円
執行役員報酬 39,342千円	執行役員報酬 51,492千円
給料手当 187,001千円	給料手当 233,385千円
減価償却費 34,306千円	減価償却費 32,048千円
賞与引当金繰入額 65,002千円	賞与引当金繰入額 83,340千円
役員賞与引当金繰入額 6,420千円	役員賞与引当金繰入額 5,100千円
退職給付費用 17,052千円	退職給付費用 19,129千円
役員退職慰労引当金繰入額 11,405千円	役員退職慰労引当金繰入額 15,063千円
租税公課 12,036千円	租税公課 13,417千円
のれん償却額 24,280千円	のれん償却額 51,277千円

## 第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は、次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は、次のとおりであります。
販売奨励金 130,256千円	販売奨励金 120,680千円
販売手数料 40,672千円	販売手数料 40,682千円
貸倒引当金繰入額 40千円	貸倒引当金繰入額 99千円
運賃 141,072千円	運賃 137,745千円
役員報酬 41,195千円	役員報酬 41,829千円
執行役員報酬 22,905千円	執行役員報酬 28,643千円
給料手当 116,043千円	給料手当 121,281千円
減価償却費 20,771千円	減価償却費 16,319千円
賞与引当金繰入額 38,287千円	賞与引当金繰入額 41,010千円
役員賞与引当金繰入額 3,210千円	役員賞与引当金繰入額 2,550千円
退職給付費用 10,184千円	退職給付費用 9,625千円
役員退職慰労引当金繰入額 7,105千円	役員退職慰労引当金繰入額 7,958千円
租税公課 7,831千円	租税公課 6,783千円
のれん償却額 24,280千円	のれん償却額 26,997千円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 1,149,777千円	現金及び預金勘定 2,348,134千円
有価証券勘定 121,965千円	有価証券勘定 352,075千円
計 1,271,742千円	計 2,700,210千円
預入期間が3か月超の定期預金 3,000千円	預入期間が3か月超の定期預金 3,000千円
現金及び現金同等物 1,268,742千円	1年以内償還予定債券 30,054千円
	現金及び現金同等物 2,667,156千円

## (株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

## 1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	29,748,200

## 2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	3,259,809

## 3 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成21年5月14日 取締役会	普通株式	利益剰余金	246,234	9.00	平成21年3月31日	平成21年6月5日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## (有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

## (デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

## (ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,114,462	1,195,992	165,051	4,475,506		4,475,506
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		26	277	303	(303)	
計	3,114,462	1,196,018	165,329	4,475,809	(303)	4,475,506
営業利益 又は営業損失( )	242,048	7,859	142,044	376,223	(41,488)	334,745

(注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品または業務

(1) 精糖..... 精製糖、液糖及び糖蜜

(2) 機能性素材..... 食品添加物、切花活力剤、イヌリン及びペクチン等の機能性食品素材

(3) 不動産..... 不動産賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(41,488千円)は、親会社の管理部門及び研究開発室に係る費用であります。

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,168,243	1,349,624	159,859	4,677,727		4,677,727
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		138	277	415	(415)	
計	3,168,243	1,349,762	160,136	4,678,142	(415)	4,677,727
営業利益 又は営業損失( )	376,294	6,223	141,305	511,376	(38,716)	472,659

(注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品または業務

(1) 精糖..... 精製糖、液糖及び糖蜜

(2) 機能性素材..... 食品添加物、切花活力剤、イヌリン等の機能性食品素材  
及びペクチン等の天然添加物素材

(3) 不動産..... 不動産賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(39,316千円)は、親会社の管理部門及び研究開発室に係る費用であります。

## 前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,031,972	1,419,150	329,918	7,781,040		7,781,040
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		138	555	693	(693)	
計	6,031,972	1,419,288	330,473	7,781,734	(693)	7,781,040
営業利益 又は営業損失( )	474,501	29,377	288,007	733,131	(97,948)	635,182

(注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品または業務

(1) 精糖..... 精製糖、液糖及び糖蜜

(2) 機能性素材..... 食品添加物、切花活力剤、イヌリン及びペクチン等の機能性食品素材

(3) 不動産..... 不動産賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(97,948千円)は、親会社の管理部門及び研究開発室に係る費用であります。

4 当連結会計年度の第1四半期連結会計期間においてユニテックフーズ株式会社を子会社化したことに伴い、機能性素材事業において資産の額が前連結会計年度末と比較して2,168百万円増加しております。

## 当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,201,091	2,780,234	1,000,431	9,981,757		9,981,757
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		177	555	732	(732)	
計	6,201,091	2,780,411	1,000,986	9,982,489	(732)	9,981,757
営業利益	672,129	5,710	282,646	960,486	(95,950)	864,535

(注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品または業務

(1) 精糖..... 精製糖、液糖及び糖蜜

(2) 機能性素材..... 食品添加物、切花活力剤、イヌリン等の機能性食品素材  
及びペクチン等の天然添加物素材

(3) 不動産..... 不動産賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(96,550千円)は、親会社の管理部門及び研究開発室に係る費用であります。

**【所在地別セグメント情報】**

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

**【海外売上高】**

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

**(企業結合等関係)**

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
433.90円	408.47円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	11,493,422	11,241,296
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)		65,748
(うち少数株主持分)		(65,748)
普通株式に係る純資産額(千円)	11,493,422	11,175,548
普通株式の発行済株式数(千株)	29,748	29,748
普通株式の自己株式数(千株)	3,259	2,388
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式 の数(千株)	26,488	27,359

2 1株当たり四半期純利益

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益 10.91円	1株当たり四半期純利益 20.40円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	298,001	548,057
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	298,001	548,057
普通株式の期中平均株式数(千株)	27,318	26,864

## 第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	2.65円	1株当たり四半期純利益	12.16円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	72,353	322,263
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	72,353	322,263
普通株式の期中平均株式数(千株)	27,345	26,494

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月7日

フジ日本精糖株式会社  
取締役会 御中

監査法人 トーマツ

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 宮坂 泰行

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 山澄 直史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月4日

フジ日本精糖株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 宮坂 泰行

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山澄 直史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。